



くわのみ

くわの友・遊学園 ～モノとココロのおかたづけ～

本人にとっては思い出であっても、他の人にとっては重いで。未来にごみを残していることにもなるので、「決着をつける・終わらせる・決断をする」ことが片付けで、前に進むことにもなるそうです。理想のくらしのために、未来を見つめることが大切だそうです。



参加者の声 受講して感じたことは、私は捨てられないタイプであることに気づきました。

モノとココロの整理においては、固定概念を取り除き、捨てるモノ、残すモノの間で迷ったときは保留にする。まず、年月日をつけて対応する。モノを手放すタイミングがあるので、その時に決断をする。モノを手放せない私は、捨て方がわからないため整理をしていたようです。

ココロが片付けば、家も片付くことに気づかされました。断捨離成功。(遠藤君子さん)

みつけたらよんでみよう おすすめの絵本

筆: たかみや みちこ

ちがうねん

ジョン・クラッセン 作 長谷川 義史 訳



おおきなさかなから、帽子を盗んだ ちいさなさかな・・・
ちいさい自分はおおきいさかなに見つかるわけがない！と強気で海の中を逃げていきます。

しかし、そこには目撃者がいて・・・

実は、この絵本には結末がはっきりとは描かれておりません。

文章も、とてもシンプルで短いものなのですが、絵から感じられる言葉を、自分で探していける楽しさがある絵本です。



桑野地域公民館 日々の情報を発信するために、インスタグラムをはじめました。

「桑野地域公民館」で検索ください。
みなさんに楽しんで見ていただくために、
いろいろな提案やアドバイスをお願いします



桑野地区青少年健全育成協議会主催「花火大会」

みなさん、こんにちは。桑野地区の会長を務めさせていただきます須藤です。

日頃は、青少年健全育成協議会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

例年ですと、オセロ大会・食育活動・体験活動（バスで猪苗代に移動して）・ものづくり講座・盆踊りの親子納涼祭りなどや、桑野小、六中・開成交番・各種団体と懇談会を持ち、地域の子どもたちが健やかに過ごせるよう活動をしてまいりましたが、新型コロナウイルス蔓延により昨年は、自粛によりほとんど活動することができませんでした。しかしながら、当会のみならずいろいろな事業が中止延期になる中で、“子どもたちのために何かをしてあげたい”と、育成指導員や公民館長、担当公民館職員と打ち合わせをして公民館の駐車場を全面使用して、家族単位で花火大会をやろうと、昨年度、企画しました。

令和2年度、密にならないような駐車場の区割りや、必要な物の準備を万全にし、当日参加者が来るのを心待ちにしていたところ、午後4時くらいから急に曇り始め、雷と雨が降ってきました。何とか実施しようと、雨雲のデータとにらめっこしながらぎりぎりまで判断を伸ばしてはいたのですが、安全を第一に考え、残念ながら中止としました。

本年度もコロナが収まらず、昨年同様、上半期予定していた企画ができない状態が続きましたが、子どもたちに喜んでもらおうと、再度花火大会を企画しました。

今年は、天候不順で雨ばかりでしたが、当日はひさびさに朝から晴れ、夕方に参加の家族の方々に来ていただくことができました。まだ少し明るいので、チラシにはなかったのですが、始めにビンゴゲームを行い、それから花火を始めましたところ、ポツポツと雨が降り始めだんだん強くなっていくので、一時軒下などに避難しましたが、15分ほどで雨が止んだので再開することができました。

子どもたちの元気な声と家族で楽しんでいただけて、本当に開催できてよかったと思います。

コロナ禍が一日も早く収束し、平常に戻ることを祈りたいと思います。 須藤 秀治



『第50回市花いっぱいコンクール』は、花で地域を美しく彩っている団体を表彰するコンクールです。一般花壇の部に105団体が参加し、19団体が入賞しました。桑野地区から参加した、市老人クラブ連合会桑野方部会が、初参加にもかかわらず【奨励賞】という素晴らしい賞に輝きました。館庭整備で地域の方が参集した機会に、代表の仲田さんに連合町内会長より、賞状と副賞を伝達しました。いつも花壇をきれいにさせていただいて、本当にありがとうございます。受賞、おめでとうございました！！

